

紅原來藏書

關流算法異乘比例卷

双  
695  
/







明 695  
卷 1

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*



吉田権次郎省

同人 永能音石

前書



明治二十九年一月三日  
河村 子 氏 寄贈



小數名之誘解

分フン。厘リン。毫モウ。絲シ。忽ユツ。微イ。纖セン。沙シャ。塵チン。埃ア。渺ミウ。漠ハク

奇偶之事

一三九者奇數也  
二四六八者偶數也

大數名之事

一ヲ為十箇為十次第同前

一。十。百。千。万。十万。百万。千万。  
万々曰億也 次第同前

億リク。兆テウ。京キヤウ。垓ガイ。秭ジ。穰ジヤウ。溝コウ。澗カン。正セイ

載サイ。極キョク 極ハ大數尾也

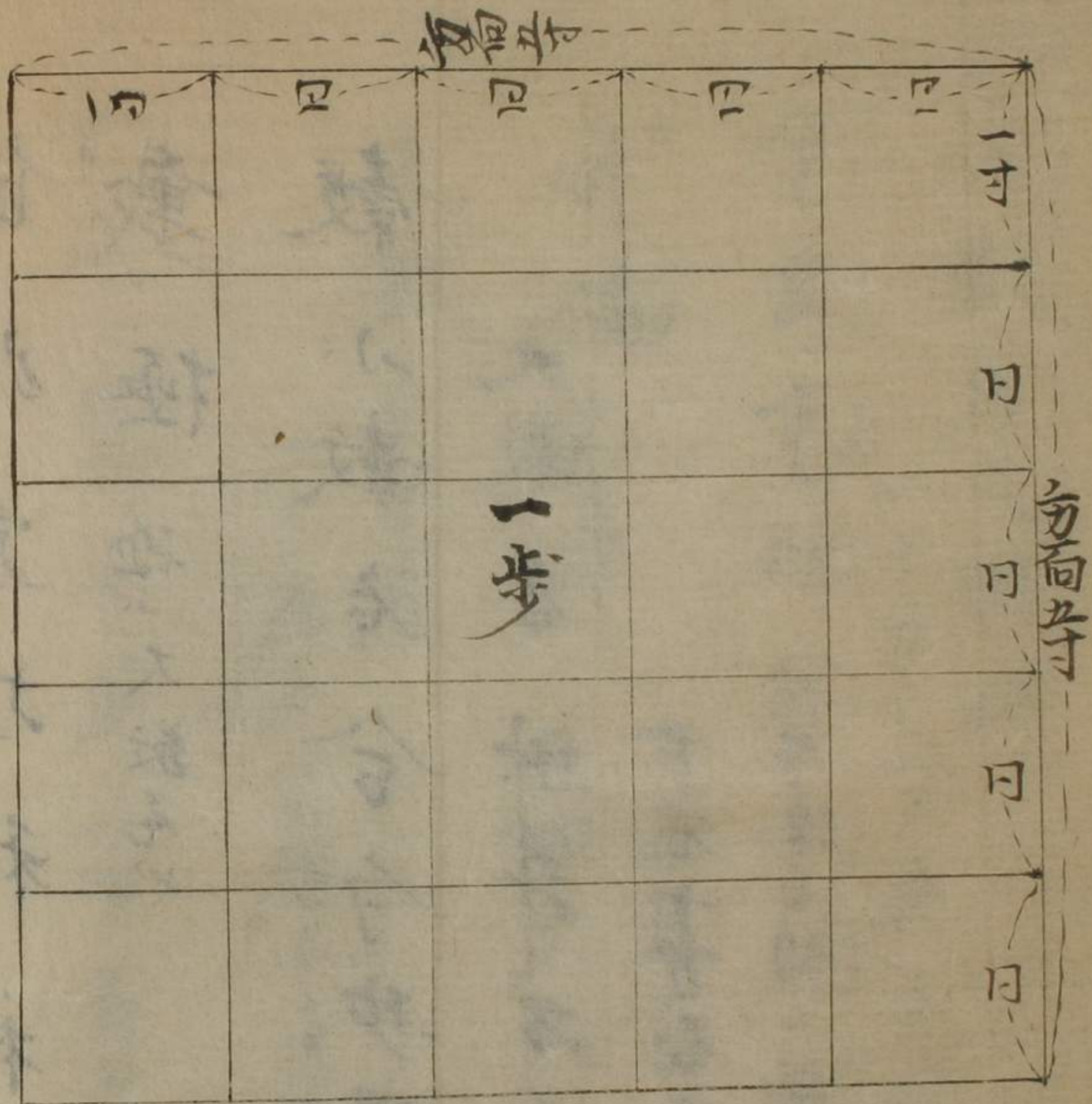
穀コク。小數名。合カフ。勺シヤウ。抄セウ。撮サツ。圭ケイ。粟ブツ

大數名。株シュ。斗ト。石シヤク。十石ジュシヤク。百石ヒヤクシヤク。千石センシヤク

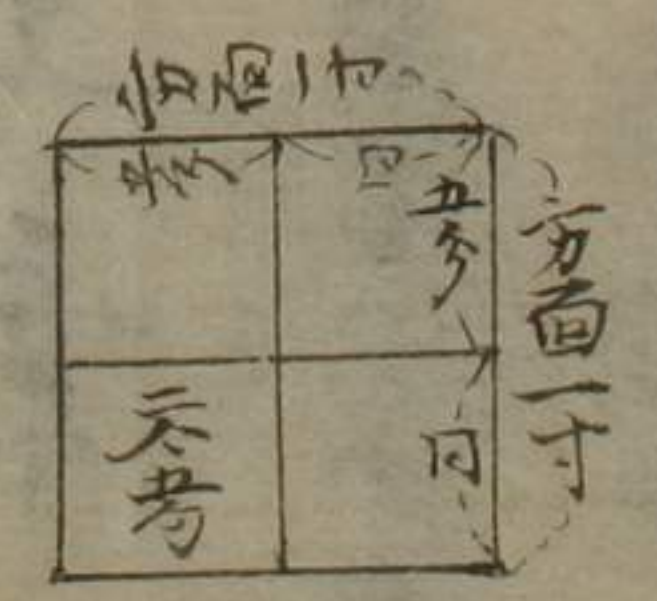
万石マンシヤク。十万石ジュマンシヤク。百万石ヒヤクマンシヤク。千万石センマンシヤク  
万々石曰一億也 次第同前



大数圖解



小数圖解



一也定

永一貫文ヲ一定金一兩ヲ一定

銀一兩ヲ一定 鋳一文ヲ一定

人者一人ヲ一定

穀 大數一石ヲ一定 小數一升ヲ一定

斤一斤ヲ一定

度一尺ヲ一定

鯨一尺一丈位曲一寸一丈位

庚月百六十百  
 和月二百  
 白月二百五十百  
 平野月二百二百



位算傳曰

大數

乘時同位其之下り一卜定  
除時同位其之上り一卜定

實折ウタ一卜定

法折首ヲ定

小數方之位

乘降トモ同位其上ウ一卜定

重之位ノ乘時

一十方ニ重ニ下り又重ニ方ニ一十ナリ同位  
其上ウ一卜定

同降位ノ

一十方ニ重ニ下り同位其上ウ一卜定

毛之位ノ乘トモ

一十方ニ重ニ毛ト下り又毛ウ重ニ方ニ一十ナリ

○同位其上ウ一卜定 次第同前

同降トモ

一十方ニ重ニ毛ト下り同位其上ウ一卜定



天一ヲ生 地ニヲ成 天地和 三生

三万物ヲ生 萬物之三天一和 四ヲ生

萬物之三地二和 五生人者 指屈ミテ

算是數初也

故一數起也

商

商あニハ 算あらとれたる 物あと云ふ

賈

賈あニハ 有るを 衣の物あらふ

法

法あニハ 衣の物あニ 目あをさる



并此万八子之商曰候九石此中二候者  
之与六抄

五万二千二百四十四割

答并五斗二年二合四勺四抄

限二子〇〇六黄八面此候或每字一子

五万六子〇抄五割

此石限五抄之每七子〇五毛

并老万半〇限八石二斗七抄七合七勺五抄

五万七子〇或为五抄五割

答并三斗二升五合或为五抄



此子或曰長七尺八寸七指之長是也

五万六千六百七十九

卷五或曰長七尺八寸七指之長是也

第六指之方七寸八分半。其長也

六指之方七寸九分。其割

卷六或曰長七尺八寸七指之長是也

第七指之方七寸九分。其割

六指之方七寸九分。其割

卷七或曰長七尺八寸七指之長是也

五指之方七寸九分。其割



第百九十九卷  
卷之八抄八横

古括之方以字之方七括之割

卷第百九十九卷之八抄八横

限七括之方以字之方七括之割

六括之方以字之方七括之割

卷第百九十九卷之八抄八横

第百九十九卷之八抄八横

七括之方以字之方七括之割

卷第百九十九卷之八抄八横

武之九第



弟已方子音字七名字中其一若  
音八抄八橫

古括之方以字之方七括之割

卷中六律及卷之方或抄八橫

浪七括方以字或方中二音八。二于五分

△方〇八百或十五割

卷中音方百或括及或方以字元以音字

年五方九子或百以括名在中其各

七括之方以字音字二割

卷中八律〇音七抄或橫以至二音

武三〇九第



浪八接武乃九子之而日接五者言七十五

七百五接六乃八千。武中九割

卷浪百。九每号一重五色二系八总五微日编案

第六接日万武子。〇〇日右是甲第九名

七百七接八万二千武乃日五割

卷第八接武乃八抄五微日重。九二重

浪日接五乃八子九百二千五。〇〇五

七百八接武乃九千武乃武中九割

卷浪五十八每武乃一重八色一第九总

八微二微案



年七拾八万七千九百八十九年

八千。此係之方。已百八十九割

卷九百八拾一撮之至四百六十一余

限九百拾五万九千九百九十九年

八千四百五十四万二千七百二十九割

卷九百拾万五千五百九十九年

第九百拾万五千五百九十九年

八千六百九拾。万五千五百九十九割

卷九百拾万五千五百九十九年

五至九百九十九年



改音字樣方以子成爲半九百貫五百圓

八子八百九十九方以子成爲半九百貫

卷第七拾遺方以子成爲半九百貫。八續

年八百七拾方以子成爲半九百貫

九億。八百七拾方以子成爲。七割

卷第九拾遺方以子成爲半九百貫。一至七兩九兩

限一億貫目

九億之子以子成爲半九百貫。一至七兩九兩

卷第十。改音字樣方以子成爲半九百貫。一至七兩九兩



宋九千九百石

九億九千九百。七方八分或百九割

大厚年三。谷九分抄三撮。四雷

紀別態野。浦九子九百九千九浦有

馬其。九万九子九百九千九相九

九万九子九百九千九多。唱者也唱教。何德意

馬教九十九億九子九百九千九。何

谷 唱教九百九千九百九千七百。〇〇億。〇〇

二十九万九千九百九千九多。〇

唱教  
馬教  
浦教

八抄相



諸相場割 并相場本 異条同條

比例式

異条同條の相場ありしは

同條の相場ありしは

五相場

水一貫文

比例

水一貫文

水一貫文

式

水一貫文五相場ありしは

五相場

水一貫文

水一貫文

水一貫文

水一貫文五相場ありしは

日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
積	一	二	四	八	十六	三十二	六十四	百二十八	二百五十六	五百十二

今日之積を又と二十日積と  
倍増して若し積を二日積と

此有積多しは

大に積を五十三万六千七百七十貫  
九百積或又

十日積

實

十日積

二十日積也

別積積言同積也

界同身の界を



今省減らるる御高

此目より御高九ト六重り以集し  
目より引けり九ト六重り也

今省減奉り五万九千二百は指の五万二千文

調減

左ノ字

省減也

今省減奉り五万九千二百は指の五万二千文

今省減奉り五万九千二百は指の五万二千文

御相場

水是る也

有御高

御高

毎朝高の初尾九指文宛御高の御高

高指奉り奉り乃各御高の御高

此。一上奉り高指奉り奉り

各御高の御高



九十七年  
六十五年  
改元也

右河内省有改元之号

此有改元之号

卷有改元之号或十之百又

河内也

古改元之号  
改元之号

卷有改元之号或十之百又

多改元

此一貫文

河内也

此一貫文

每改元之号

しるは

改元之号

卷

二百二十之石中七律卷  
二百二十之石中七律卷

二律卷  
二百二十之石中七律卷

石高  
傳入  
儀也



右の事とある中六事各一箇ありて  
也筆の極なり

此の事と接目

今や千の接目は是なり

五相馬

水も是なり

花も是なり

鳥も是なり

此の事と接目  
左の事と接目

水も是なり

今も是なり

此の接目

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

日  
水も是なり

水も是なり  
此の事と接目

水も是なり  
此の事と接目

水も是なり  
此の事と接目



百中武事文事を以てて了悟也  
軍中武事を以てて了悟也

此の武事は了悟也

谷は七五也

神武天皇の御代に  
七五の御代に

古事記

新羅

喜入  
志

中

百中武事文事を以てて了悟也

此の武事は了悟也

谷は七五也

古事記

新羅

第一

中

百中武事文事を以てて了悟也

谷は七五也

古事記

新羅

古事記

新羅



所蔵相場の事

此の多の此物成り可二年五拾俵  
百俵分此五俵を主人也

今由張紙合二倍七五相成重き五分半相成  
河内島

此の多の此物成り可二年五拾俵

金三十七兩

年三十五名

今由張紙

此の相成

御東近頃今由張紙此物成り可二年  
五分半相成也今由張紙

此の多の此物成り可二年五拾俵

此の多の此物成り可二年五拾俵

三十五石

金四十五ヶ俵

此の多の此物成り可二年五拾俵

此の相成

此の多の此物成り可二年五拾俵



沖張紙全三拾五兩  
五兩の所重下即半々半々  
五兩後也  
右沖張紙  
五兩

谷

沖張紙代金九兩  
水車原金拾五兩

一ヶ

天 一ヶ 地

沖張紙 五  
水車原 五  
石高実

三十五石割

糸

石高実

水車原五石  
仲永

沖張紙四拾五兩  
沖張紙代金拾五兩  
水車原金拾五兩  
水車原金拾五兩  
水車原金拾五兩  
水車原金拾五兩

谷

沖張紙代金拾五兩  
水車原金拾五兩

水車原金拾五兩







我母の足立の事終に平九條大谷拾遺  
拾遺七の事其事五反今之拾遺也  
に物事  
以 五反の事

卷之二十一

拾遺七の事

亦拾遺文

河内府の事

拾遺五反

拾遺文

苗葉の事  
拾遺七の事  
拾遺文  
河内府の事

卷之二十二

拾遺五反

永十文

河内府の事

拾遺五反

拾遺文

河内府の事



大坂番より申上り申付口跡五拾五石あり  
并之拾五石但し申上り申入る者他跡  
しり証あり

大坂跡より〇〇〇石あり

石相馬  
俵入

〇〇〇石あり

古跡より申上り申付口跡五拾五石あり

〇〇〇石あり

大坂跡より〇〇〇石あり

石相馬

〇〇〇石あり

大坂跡より〇〇〇石あり

〇〇〇石あり

石相馬

〇〇〇石あり

大坂跡より〇〇〇石あり

石相馬

大坂跡より申上り申付口跡五拾五石あり

大坂跡より申上り申付口跡五拾五石あり

〇〇〇石あり



答

西初局身老体答百。七撮三全

注言一石五升六斗六分七厘九毫二絲八忽九微

大並七十局身

乃治字五枚

江五初局

江五製字目

大並一石五升

江五初局

江一石五升

江五初局

西初局之拾月取相屬之務要製今口取  
五枚有少初局之七枚有

江五初局之拾月取

答今二局三局

注言一石五升六斗六分七厘九毫二絲八忽九微

西初局

少初局

四十二枚

中初局

少初局

少初局之拾月取相屬之務要製今口取  
五枚有少初局之七枚有

江五初局之拾月取

答

注言一石五升六斗六分七厘九毫二絲八忽九微

有初局

廣製

術在口取



淡石首五百文 岩山列六枚 月七枚の淡  
石種高

答一冊 淡百〇八文 一文 百〇八文

淡石拾遺又存全一冊 一冊の淡石種高

答一冊 淡百〇八文 一文 百〇八文

淡石首六百文 淡石種高

答一冊 淡百〇八文 一文 百〇八文

淡石首〇八文 有り 淡石首〇八文 淡石種高

答一冊 淡百〇八文 一文 百〇八文

淡石首五百文 岩山列六枚 月七枚の淡

淡石種高

一文

淡石種高

一文

淡石種高

一文

淡石種高

淡石種高

淡石種高

淡石種高



世に与る早筆集のりたる人

九十字

一六七のりたる制定区也

二紙ハ八掛  
四リ或ハ掛

一六字

定法ハ后目ヲ以テ事

後武為武信を費文以て全二條四箇を以て文作  
深利所のりたる

卷一五廿五のりたる

一七字

五折所

九十字

大判之旨は格武也

名山判之旨は格武也

卷二十之旨は格武也

大判  
有合

但大判之旨は格武也

深利格武は格武也

甲三三のりたる

日 是也 四箇を以て

大判之旨は格武也

卷一五廿五のりたる

八十字

也



足版算用

ある武女と云ふ五重の巻のてまのては流河の御こと

此は西の流河の御こと

巻のては流河の御こと

武女七重

西の流河

一反天板  
七重五重

天板あり

一五

流河

右のては流河の御こと

此は武女と云ふこと

巻

武女七重

流河

七重

五重

天板あり

此は武女と云ふこと

武女七重

流河

細のては流河の御こと

流河の御こと

此は武女と云ふこと

巻

武女七重

流河

七重

五重

天板あり

此は武女と云ふこと

一正天板

武女七重



五儀一は是正時五拾六中下書个三拾  
是正時五拾六中下書个三拾  
是正時五拾六中下書个三拾

卷之七 拾遺書 記有書

正時  
五拾六

拾六中下書个三拾  
正時五拾六中下書个三拾

卷之八 拾遺書

正時五拾六中下書个三拾

正時五拾六中下書个三拾

正時五拾六

正時五拾六

正時五拾六

正時五拾六

牛綿父月寺也何代後九百三拾六又个三拾  
少時五拾六中下書个三拾

卷之九 拾遺書

正時五拾六

正時五拾六

正時五拾六

正時五拾六

正時五拾六



牛綿紗乃守舟也津後甲又家時以割合  
あしへ 今言守父也時尺村ら初高

尺合と支き人き寸九尺余

由半四丈

二尺八寸

今言半尺

尺

也

綿由尺守寸九尺後甲又家時以割合  
尺合と支き人き寸九尺余

此曲を尺二寸半  
尺合と支き人き寸九尺余

位寸一の心

尺合と支き人き寸九尺余

曲八寸

代三寸半

乃

尺二尺

曲二尺三寸半

尺二尺

尺

曲尺代浪  
八

如紅一尺有也尺合と支き人き寸九尺余  
紅一尺有也浪の初高 尺合と支き人き寸九尺余

尺合と支き人き寸九尺余

此曲を尺二寸半

尺二尺

正尺

也



羅沙屋敷敷天四階紙の類を坪割算用の度

下天四階紙幅由より或る寸奇とと天寸奇

寸奇は張るの張る毎割合のこの幅寸奇を量

奇二寸八寸寸奇を量由寸代張るの寸奇

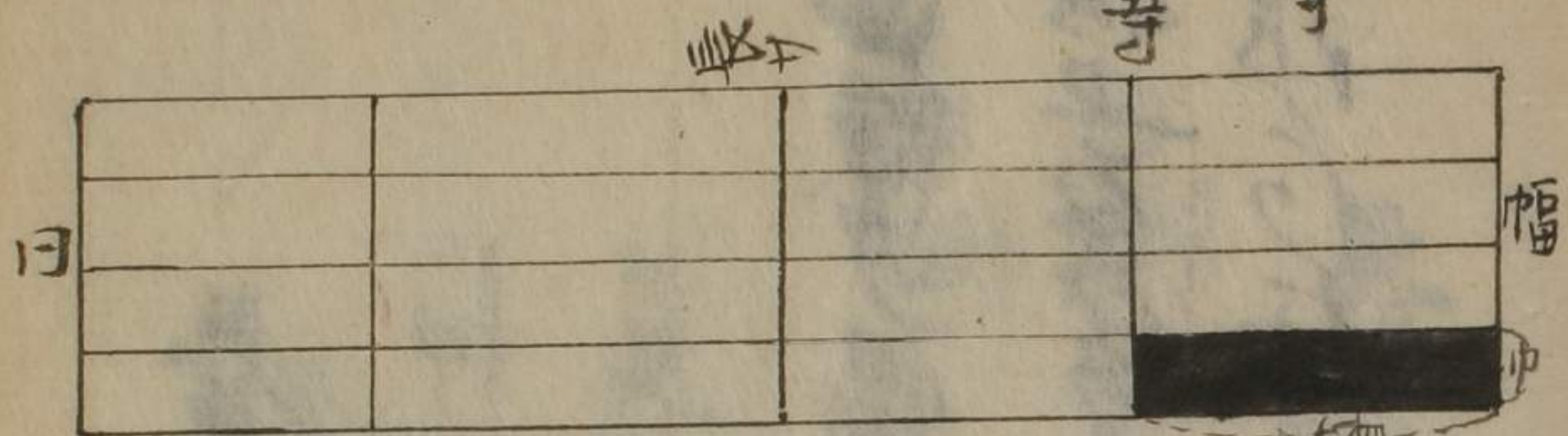
此の寸奇を量

### 答は張る

張るの寸奇を量

曲幅二尺寸

曲長一丈二寸



餘二尺

日一丈

右長寸 幅

乃寸四方一步

價張

新長寸

幅

答甲積三十三百二十五步

答乙積百九十五步二寸一寸

幅は天寸長寸寸奇の寸奇代合の寸奇  
張るの寸奇を量由寸代張るの寸奇  
長は二尺寸奇の寸奇を量

此の寸奇を量



養正金武年  
取之由。七等八色古高五色

右甲帳  
昌々  
代金言  
池言

今乙帳  
百五十五  
由之由言

右田種少幅之尺寺長寺六丈五尺八寸合

田接五五或方益今幅之尺寺長寺六尺八寸

中流之極高

伊五等田之極目  
中流之尺寺長寺六尺八寸

養正金武年  
取之由

右幅  
甲  
代金言

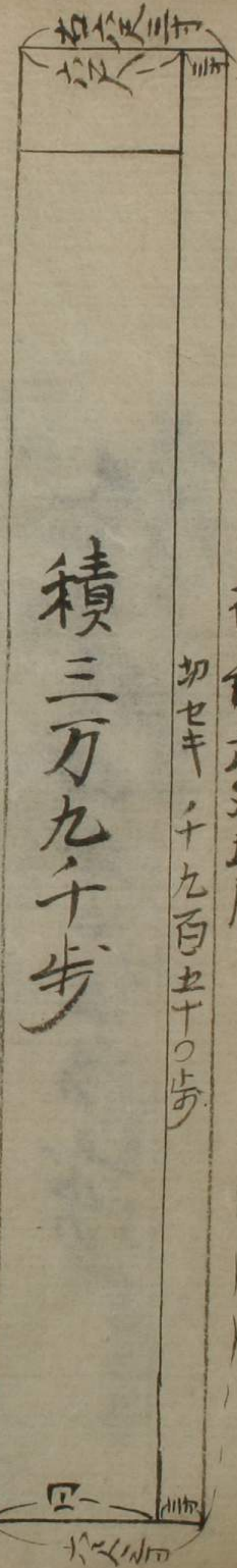
今幅  
乙  
由之由言

右甲種四万。九百五拾の步

右乙種四千。九拾五歩

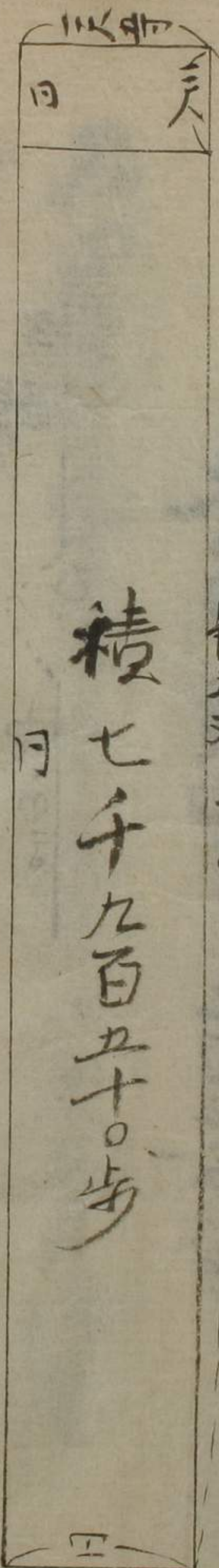


右長六丈五尺  
切七千九百五十九歩



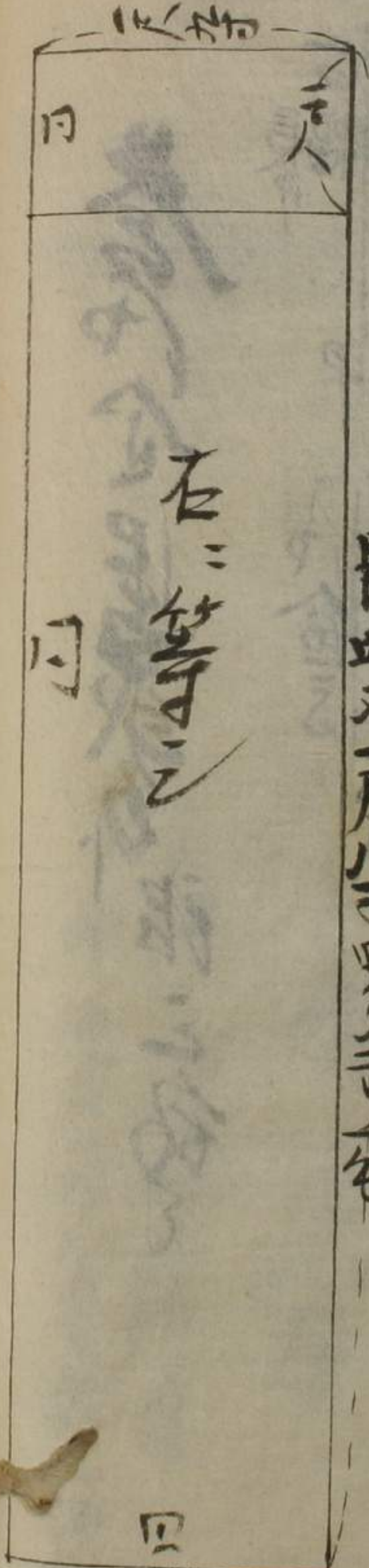
積三万九千歩

長五丈三尺



積七千九百五十歩

長四丈二尺八寸四分



右三等

右幅六尺二寸五分  
左幅六尺二寸五分  
右長六丈五尺  
左長六丈五尺

右積四万九千九百五十歩

右切幅二寸五分  
左切幅二寸五分

右積四万九千九百五十歩

幅五丈二尺

右幅六尺二寸五分  
左幅六尺二寸五分  
右長六丈五尺  
左長六丈五尺

幅

幅

七千九百五十歩

七千九百五十歩



卷の身丈八寸五分

左幅

右幅

後

形長

形平也

形平

形長

也

新幅

形長

形平

卷の幅八寸五分

今幅を八寸五分とし、又八寸五分有り、是を幅  
七寸五分幅とし、長寸五分也

卷の身丈八寸五分

今幅を八寸五分とし、又八寸五分有り、是を幅  
七寸五分幅とし、長寸五分也

卷の身丈八寸五分



編面を人成段之衣七の五重 此歸之の母字の七重  
紡糸の付を母字の牛御を人七の五重 此歸之の母字の七重  
束時那百の孫月右路の適等の人成の同

# 卷

紡 石等

本御 同

# 裁

編を那百の母字の母字の同 此歸之の母字の七重  
裁糸那百の母字の同 此歸之の母字の七重  
本御那百の母字の同 此歸之の母字の七重

編三片代

天

紡三片代

地

牛御代

天地の同

由

代那言

甲

一母字の同

一母字の同

編三片代

一母字の同

紡三片代

一母字の同

本御

布那言 今人同 代那言 今人同 合之母字の同 此歸之の母字の七重  
甲那言 今人同 代那言 今人同 乙那言 今人同 丙那言 今人同  
丙那言 今人同 丁那言 今人同 戊那言 今人同 己那言 今人同



乃甲乙丙相像

甲布 甲人寺 事 和唱也

卷

乙布 乙人寺

丙布 丙人寺

甲布長  
也

乙布長  
也

丙布長  
也

今佛武女寺人寺也此等也

訪幼女寺人寺也此等也

今佛武女寺人寺也此等也  
訪幼女寺人寺也此等也

卷 佛四尺寺等

本經八寺 二十二句等

佛四尺寺等 四十五句 瘦也 四尺二寸五分 四十一句

何連茂兩等集等也

卷 本佛武女寺人寺也此等也

卷 佛四尺寺等也



織りの長きをよみかへ、甲乙西の人配りをも

頃と、甲の人配りなる月日、乙の人配りなる月日

丙の人配りなる月日、若くは丙の人配りなる月日

併し、甲乙丙の月日

答

甲乙丙の月日、乙丙の月日、丙の月日

甲浪

甲也

乙浪

乙也

丙浪

丙也

丙浪

丙也

丁浪

丁也

馬のいみき足舟、乙浪七寸七厘、甲乙丙の月日

右、裁下七寸の襦袢、乙浪七寸七厘、甲乙丙の月日

答、乙浪七寸七厘、甲乙丙の月日

甲浪

甲也

乙浪

乙也



結を正し舟渡り流に二十七のち一了二十是  
半は流の初め

結を正し舟渡り

谷津の尻合は橋の尻合

流の初め

正代  
一正代  
五処

流の初め正有り流に正半舟は正  
流の初め正有り流に正半舟は正

河初め

正代有り

谷津の尻合 百の橋の正

結を正し舟渡り

正代

結百五十

流の初め

流の初め

正代  
何れ何れ  
や



きぬる五拾人有り此十二正半并即正半の  
深更所にて若深更の傍に在る也

答 武揚正定 累年より毛色赤の深更

深更と深更傍也

百半正

坊ハ妙女寺人寺也

深更正定也

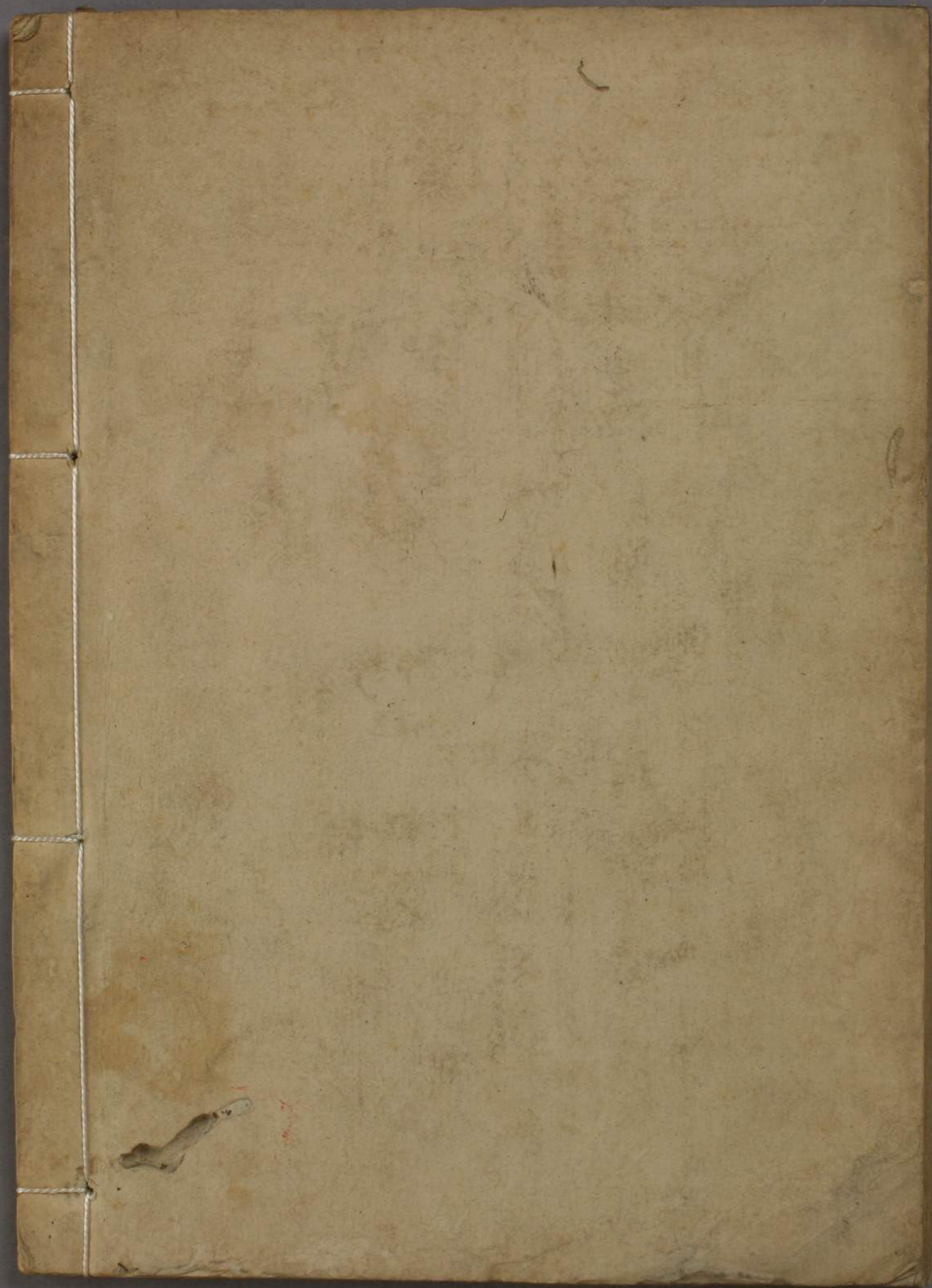
深更き也

五女三人

坊

ハ正也







徐氏家藏

心海

如物

中

体

望

心



1891

21

Wm. W. Brewster

Wm. Brewster

Wm. Brewster

Wm. Brewster

Wm. Brewster